

指導要領	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
(1)ア	文字、数値、画像、音などの情報をデジタル化することに関心を持つ。	文字、数値、画像、音などをコンピュータでデジタル化する方法を考える。	コンピュータなどで、文字、数値、画像、音などをデジタル化することができる。	情報機器で、文字、数値、画像、音などの情報をデジタル化する仕組みを理解する。
(1)イ	身のまわりの多様な情報をデジタル化によって統合しようとする。	身のまわりに見られる情報機器の機能と役割を考える。	多様な形態の情報をデジタル化するための情報機器を選択することができる。	身のまわりに見られる情報機器の機能と役割を理解し、多様な形態の情報をデジタル化することによって統合的に扱えることを理解する。
(1)ウ	情報機器を活用して多様な形態の情報を統合し、伝えたい内容をわかりやすく表現しようとする。	伝えたい内容をわかりやすく表現する方法を工夫する。	情報機器を活用して多様な情報を統合して、伝えたい内容をわかりやすく表現することができる。	伝えたい内容を情報機器でわかりやすく表現する方法を理解する。
(2)ア	情報通信ネットワークの仕組みとセキュリティに関心を持つ。	情報通信ネットワークでセキュリティを確保するための工夫を考える。	情報通信ネットワークのセキュリティの情報を収集することができる。	情報処理システムの基本構成と開放性の高いネットワーク通信ではセキュリティの確保が必要であることを理解する。
(2)イ	情報伝達の手続きや回線の容量を中心に、情報伝達を速く正確に行う方法に関心を持つ。	情報通信を速く正確に行う工夫を考える。	情報の伝送時間の見積もりができる。	情報伝達の手続きや回線容量を表す単位について理解し、情報を高速に送るための通信の工夫を身に付ける。
(2)ウ	情報通信ネットワーク上のソフトウェアを利用してコミュニケーションに関心を持つ。	目的に応じた効果的なコミュニケーションの方法とモラルを考える。	コミュニケーションの目的や状況に応じた効果的なソフトウェアを選択し活用することができる。	電子メールや電子会議などの情報通信ネットワーク上のソフトウェアの特性を理解する。
(3)ア	情報の保護に関して意欲的に取り組む。	情報の保護の必要性や情報の収集・発信に伴って発生する問題と責任を考え、誤った情報や偏った情報の判断をする。	多くの情報から誤った情報や偏った情報を選択しそれに対処することができる。	多くの情報を有効に利用するには誤った情報や偏った情報があることから情報の利用で生じている問題点を理解し、情報の収集と発信に関する個人の責任を身に付ける。
(3)イ	情報通信ネットワークを活用した情報を適切に収集・分析・発信しようとする。	情報発信で受け手の状況を考え、情報の収集、整理、分析、発表方法を工夫し評価する。	課題解決を通じて、受け手の状況を配慮した情報の収集、整理、分析とその結果の発表を行うことができる。	問題解決において情報の収集、整理、分析、発表を統合的に活用する方法を理解する。
(4)ア	代表的な情報システムと社会の関連に関心を持つ。	システムの信頼性が社会に及ぼす影響を考える。	代表的な情報システムの種類と特徴を収集しまとめる。	社会で利用されている代表的な情報システムの種類と特性、信頼性を高める工夫などを理解する。
(4)イ	情報化が及ぼす社会への影響を考え、望ましい情報社会のあり方について関心を持つ。	情報化が社会に及ぼす、今日的な課題や情報化の「影」の部分について、それを克服していくための心構えや様々な工夫について考える。	望ましい情報社会のあり方について、調査・討議することができる。	情報化の進展が社会を発展させたことと理解し情報化の「影」の部分の克服方法を身に付ける。